

国東市学校・園教育環境整備計画

(平成21年～30年)

平成21年3月

国東市教育委員会

目次

I. はじめに	1
II. 国東市立小学校の教育環境整備について	
1 「国東市学校教育審議会」の答申について	2
2. 国東市立小学校の適正規模・適正配置の基準について	3
3. 国東市立小学校の適正規模・適正配置の具体的な方策	3. 4
4. 統合する学校の教育環境の整備について	4
III. 国東市立幼稚園の教育環境整備について	
1. 幼稚園の教育環境の現状と課題	5. 6
2. 幼稚園の教育環境整備計画について	6
IV. 国東市立中学校の教育環境整備について	7
V. まとめ	8

I. はじめに

新しい学習指導要領が小学校は平成23年度、中学校が平成24年度に本格実施される。平成14年度からの学校週五日制度の完全実施に伴い、「ゆとり教育」が実践されていたが、今回の改訂によって、「ゆとり」という言葉が学習指導要領から姿を消し、また総合的な学習の時間が減少する代わりに、各教科の授業時間数が増加するとともに小学校高学年で外国語活動が必修化される。「教えるべきことはしっかりと教え込む」というスタンスに変わりつつある。

また、少子化と核家族化が、児童・生徒の人間関係の希薄化、狭い交友関係をつくり、忍耐力やたくましさの欠如を招き、自立を遅らせる等の子どもたちの豊かな人間性や健全な社会性の成長・発達を阻害している面が見受けられる。

このような現象は、情報化社会の現代では、地方の子どもだから大丈夫という状況ではないということ認識しなければならない。

このように考えるとき、国東市教育委員会（以下「市教委」という。）には、子どもたちが集団生活における人との関わりのなかで、心豊かな人間としてたくましく成長できる学校教育環境を整備する大きな責務がある。子どもたちの個性を生かし、個人の可能性を見出し伸ばすとともに、多元的で多様なものの見方や考え方を育み、発達段階に応じた多様な経験をさせ、協調性や社会性を養って望ましい人間関係づくりに努めさせることが極めて大切である。

現在、国東市の幼稚園、小学校、中学校では、園児・児童・生徒数の減少が著しく、本来ある学校教育機能が十分発揮しにくい環境になってきており、次代を担う子どもたちの教育を考え、教育環境の整備を考えるとき、より望ましい集団生活のなかでの活気に満ち、切磋琢磨できる適正規模の学校(園)づくりが重要となってくる。

こうした現状を受け、市教委は、「国東市学校教育審議会」に学校の適正規模・適正配置による教育環境整備について諮問し、昨年12月に当審議会から答申を受けたところである。

この答申を受けて市教委は、児童生徒のよりよい教育環境の整備と教育の質のさらなる充実を目的とした学校の適正規模及び適正配置を推進するため、基本方針を策定する。

Ⅱ. 国東市立小学校の教育環境整備について

1. 「国東市学校教育審議会」の答申について（答申書参照）

平成20年12月22日に提出された「国東市学校教育審議会」の答申では、「小学校の適正規模は、教育活動、児童の指導上、学校運営上などの観点から、児童の教育環境を更に向上させていくために、複式学級のない最低1学年1学級以上を構成できる学校規模が望ましい。」という基本姿勢に立ち、次のような答申が出された。

- (1) 小学校全校児童数50名を割り込む学校については統合の検討を開始し、複式学級の解消を図るものとする。
- (2) 小学校全校児童数30名程度の学校については児童間の切磋琢磨が出来る教育環境が困難となるため、積極的に統合を図るものとする。

国の複式学級の設置基準によれば、隣接する2学年の児童数合計が16名以内のとき複式学級を設置しなければならない。したがって児童数が1学年平均8名以下になった時、複式学級設置の可能性が大きいと考えられ、その時の全校児童数は48名前後と考えられる。実際、国東市内の小学校では、全校児童数50名前後から複式学級を抱えている。学年間の児童数のばらつきにより、60名を超える学校でも複式学級を抱えている小学校もある。

また、全校児童数30名程度の小学校では、1学年平均5名以下となり、複式学級が2学級でき、男女バランスも不均衡になり易く、望ましい教育環境とはいえない。

現在国東市内には、複式学級のある小学校が8校あり、うち5校が2つの複式学級を抱えている。年々児童数が減少傾向にあり、5年先、10年先の児童数の推移を見通しながら、全市的視野で、「国東市学校教育審議会」の答申を最大限に尊重した学校の適正規模・適正配置を図らねばならない。

2. 国東市立小学校の適正規模・適正配置の基準について

国の基準（学校教育法施行規則）では、「小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を基準とする」と規定されているが、市教委としては、答申及び地域事情を考慮して、国東市における小学校の適正規模・適正配置の基準を以下のとおりとする。

〔適正規模〕

多様な人間関係を育む中で集団のルールを学び、社会性を高めるとともに、自らの個性や能力を伸長させることが期待できる学校規模として1学年1学級以上を基準とする。

〔適正配置〕

適正規模に満たない学校については、近接の学校との統合を基本として、通学区域の状況、近接校との距離、地域の特性、将来動向などを見極め、校舎の老朽改築時期も考慮して、学校規模の適正化を図る。

3. 国東市立小学校の適正規模・適正配置の具体的な方策

(1) 全校児童数30名程度の小学校は、積極的に統合を図る。

市内小学校の中で、現在又は5年以内に全校児童数が30名以内になる学校は下記3校である。この3校については、平成23年度に3校とも30名を割るので、地元合意の上、平成23年度に統合する。

学校名	児童数の推移(年度毎)												統合計画
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
大恩小学校	26	22	17	15	10	9	6	7	6	5	6	0	富来小との統合
豊崎小学校	24	27	27	28	26	23	19	16	15	10	0	6	国東小との統合
来浦小学校	28	33	34	26	28	25	22	13	8	8	6	0	富来小との統合

※児童数は、平成26年度以降は推定児童数

- (2) 全校児童数50名を割り込む小学校並びに、今後10年間で児童数が30名程度になる小学校は、統合を検討する。

国東市内の小学校で、現在、全校児童数が50名以内又は今後10年間で児童数が30名程度以内になる小学校は下記3校である。平成24年度には、下記3校とも全校児童数50名以内となるので、3校とも平成24年度より、保護者アンケートや地元説明会等を行うなど、統合に向け検討を開始する。

学校名	児童数の推移(年度毎)												統合計画
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
竹田津小学校	43	46	45	37	35	36	33	34	33	33	33	32	伊美小との統合
熊毛小学校	53	50	56	53	46	42	34	34	28	29	27	25	伊美小との統合
武蔵西小学校	56	49	43	37	39	31	30	30	29	30	27	25	武蔵東小との統合

※児童数は、平成26年度以降は推定児童数

4. 統合する学校の教育環境の整備について

学校の適正規模・適正配置を推進する際には、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるという考え方の下、次の条件整備を行うものとする。

(1) 学校の施設設備の整備

適正配置における学校の統合において、施設・設備面の改善及び教材教具等の充実を図るとともに、災害などに対応できる耐震補強等の整備を行う。

(2) 通学路の安全確保

適正配置による統合により、従来に比べ遠距離通学となるため、児童の安全・安心な通学を十分に配慮し、安全性が高い通学方法を検討する。

Ⅲ. 国東市立幼稚園の教育環境整備について

1. 幼稚園の教育環境の現状と課題

幼稚園の目的は「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する」(学校教育法第22条)ことであり、同年代の幼児との集団生活をとおして、主体性や社会的態度を身につけることを目標(学校教育法第23条)としている。

しかしながら、国東市においては過疎化・少子化が進み、園児数が激減している地域があり、この目標達成が困難な状況となっており、幼稚園教育の環境整備は急務な課題である。

国東市立幼稚園の状況は、次のとおりである。

平成20年4月1日現在

幼稚園名	所在	開園	併設小学校	園児数	定員	備考
竹田津	国見	昭和48年	竹田津	6	70	市立竹田津保育所内(25)
国見中央	国見	昭和51年	伊美	14	35	5歳児のみ(国見中央)、私立伊美保育園(0~4歳児)
熊毛	国見	昭和47年	熊毛	5	70	市立熊毛保育所内(13)
富来	国東	昭和51年	富来	5	70	市立大恩こども館、 私立来浦保育園・富来保育園
豊崎	国東	昭和38年	豊崎	4	70	市立オレンジ保育所、 私立国東保育園・ひともし幼稚園
旭日	国東	昭和29年	旭日	20	70	私立国東町南部保育園 私立むさしこども園
安岐中央	安岐	平成20年	安岐中央	50	105	3~5歳児 市立幼稚園、私立安岐中央保育園(0~5歳児)
安岐	安岐	昭和30年	安岐	43	105	3~5歳児 市立保育所

上国崎幼稚園は、現在休園中からH21年3月末閉園する。

以上のような国東市立幼稚園の現況から判断して、市立幼稚園の教育環境整備に関わる課題としては、次のようなことが考えられる。

(1) 国見町(市立幼稚園3園)

竹田津幼稚園は園児6名、熊毛幼稚園は園児5名と園児数が10名未満となっている。2園とも市立保育所内にあり、幼稚園と保育所が連携をとりあった運営がなされている。また国見中央幼稚園は設立時の条件(私立保育園との共存)として5歳児のみの保育を実施している。ただし、3

園とも年々園児数が減少していくことが予想されるので、将来的に私立保育園との共存を前提として、幼稚園と保育所の統合又は幼保一元化を検討しなければならない。

(2) 国東町（市立幼稚園3園）

平成21年度の豊崎幼稚園の園児数は4名から2名に減る見込みであり、幼児教育の環境として好ましくない状況である。富来幼稚園の園児数も5名と少なく激減傾向にある。旭日幼稚園は、国見町と国東町の市立幼稚園の中では、最多の20名という園児数が通っている。このことは幹線道路沿いにあるという地理的条件からか、他校区からの入園が多くなっている。

(3) 武蔵町

武蔵町には、公立の幼稚園はなく、私立幼稚園の1園がある。この幼稚園では保育園と連携した「認定こども園（幼保連携型）」として、一体的な運営を行っている。

(4) 安岐町（市立2幼稚園）

安岐町には2園あり、安岐中央幼稚園は園児数50名と安岐幼稚園は園児数43名で他町に比べ園児数が多いが、3歳児から5歳児を保育しており、入園資格について市内統一されておらず今後の検討課題である。

※市内の公立幼稚園・保育所及び私立幼稚園・保育園については、別紙資料5を参照されたい。

2. 幼稚園の教育環境整備計画について

「国東市学校教育審議会」の答申では、園児数の少ない幼稚園と公立の保育所との幼保一元化を示唆している。また市内幼稚園の入園資格が同一ではないという問題もある。

市教委では、少子化の進行、育児サービスの多様化に伴って生じる幼稚園と保育所の問題点を解決すべく、「国東市公立幼稚園・保育所等検討委員会（仮称）」を平成21年度早期に設置し、その検討委員会の結果を受けて、国東市立幼稚園の教育環境整備計画を作成する。

IV. 国東市立中学校の教育環境整備について

現在国東町にある4中学校を統合し、統合国東中学校「(新)国東中学校」が平成21年4月1日に開校する運びとなっている。(新)国東中学校が開校すれば、下表のように国東市内の中学校は各町1校の計4校となり、学校間の距離、地域事情を踏まえてほぼ適正配置となったといえる。また、(新)国東中学校以外は、校舎等の建築年度が新しく、早急な改修の必要はない。

(新)国東中学校も旧国東高校の校舎等を大規模改修工事や耐震補強工事により、中学生の学び舎にふさわしい施設として使用できるよう整備を行った。

《平成21年度》

学 校 名	国見中学校	(新)国東中学校	武蔵中学校	安岐中学校
生 徒 数	97名	358名	167名	295名
校舎建築年度	平成17年	昭和57年 (平成20年度改修)	平成9年	平成17年

中学校においては、当面、統合の必要性はないと考える。施設・整備面の改善及び教材教具の充実を図り、必要に応じた改修・改造などを行い望ましい教育環境整備に心がけたい。

V. まとめ

市教委では、平成18年3月31日の国東市発足以来、合併協議会等を通じての旧町からの申し送り事項として、安岐町4小学校、国東町4中学校の統合に取り組んできた。その過程において、市内の小学校の規模の不均衡が目立つようになり、小学校と幼稚園の教育環境を整備する必要性が生じてきた。

小学校、幼稚園の教育環境整備については、合併前の旧町時代からの懸案事項であった安岐町4小学校の統合、国東町4中学校の統合の事業に取り組んでいる最中ではあったが、平成20年2月21日に、市教委は「国東市学校教育審議会」を設置して、「国東市学校教育環境整備」について諮問をした。合計7回の審議会を重ね、平成20年12月22日に答申を頂いたところである。

市教委は、審議会の答申を最大限に尊重しつつ、「国東市学校・園教育環境整備計画」についてここにまとめた。

保護者の方々、地域の方々の様々な思い出が山積し、心の寄り所である小学校・幼稚園が統合されることは、地元の方々にとっては大変辛いことではあるが、市教委としては、あくまでも子どもたちに望ましい教育環境を整備する立場から、計画を立てたしだいである。

したがって、この計画の実施にあたり、学校が地域で果たしてきた役割や地域事情に十分配慮し説明会を行い、地元の方々のご理解をいただかなければならない。

この「国東市学校・園教育環境整備計画」が、早期に事業として採択され、次代を担う子どもたちが、整備された教育環境の中でたくましく成長し、明日の国東市の発展に寄与できる人材に育ってくれることを強く期待するものである。

